

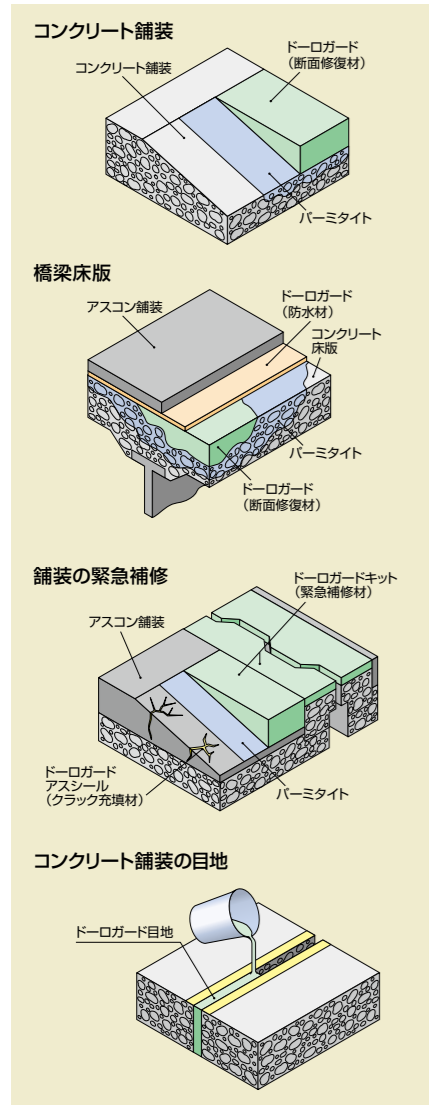
その他のコンクリート補修工法・補修材

●コンクリート舗装の補修工法

メタクリル(MMA)樹脂 ※1
ドーロガード™工法 ※2

ドーロガード工法は、メタクリル樹脂モルタル「ドーロガード」と浸透性メタクリル樹脂「パーミタイト」の組合わせで、土木構造物の補修や補強、耐久性の向上を行う工法です。30分～60分で硬化が完了しますので、交通規制時間の短縮が図れ、しかも耐摩耗性・耐候性・耐薬品性に優れています。また、粘弾性特性をもち交通荷重に効果的に作用します。ドーロガード工法は、メンテナンスフリーを可能にする高耐久性コンクリート補修工法です。

●各種適用例

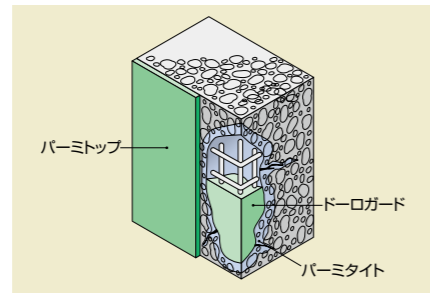


※カタログ中の一部写真はイメージとして使用しています。

●コンクリート構造物の補修工法

メタクリル(MMA)樹脂 ※1
ドーロガード™工法 ※2

●一般構造物への適用例



●コンクリート構造物用無機系補修材

アーマ ※3

アーマは、劣化したコンクリート構造物の機能を回復し、耐久性を向上させる補修材料です。コンクリート躯体との一体性と保護機能に優れた無機系補修材料で、小断面修復から大断面修復、ひび割れ修復など、用途に対応する各種補修材があります。

- 小断面修復 パッチング工法 表面被覆 #100シリーズ
- 不陸調整 #120P
- ポリマーセメントモルタル用混和液 #200
- 大断面修復 吹付け工法 #300シリーズ
モルタル充填工法 #520
- 鉄筋の防錆処理 防錆ペーストセット #1000
- 塩害劣化防止剤 #800

●コンクリート二次製品補修材

メイクエース ※3

プレキャスト製品などの表面に発生したピンホールや角欠けの補修に用いる速硬タイプの補修材です。

- MK-30 超速硬セメント 30分硬化

●コンクリート舗装の補修材

メタクリル(MMA)樹脂 ※1
ドーロガードキット JCII ※2

ドーロガードキットは、メタクリル樹脂モルタル「ドーロガード」と浸透性メタクリル樹脂「パーミタイト」の組合わせで、土木構造物の補修や補強、耐久性の向上を行う工法用補修材です。

●コンクリート目地注入材

メタクリル(MMA)樹脂 ※1
ドーロガード目地 ※2

専用樹脂モルタルとの組合わせで、供用中のコンクリート舗装版目地の伸縮に追従する弾性があります。寸法安定性・耐久性に優れ、コンクリート端部の角欠けを保護することができます。

アスファルト補修材

●アスファルト舗装の補修材

全天候型常温合材
とうほファルト™ スーパー ※4

とうほファルトスーパーは、豊富な補修実績に裏打ちされた補修用アスファルト混合物です。強度発現が早く、長期安定性・耐水性に優れています。



メタクリル(MMA)樹脂 ※1
ドーロガード™キット ASII ※2

ドーロガードキットは、メタクリル樹脂モルタルとモルタル用骨材の組み合わせで、薄層でも割れ・剥離が生じにくく、耐摩耗性・耐衝撃性に優れています。しかも0℃の低温環境での施工も可能で、大型機械は不要です。



- ※1 三菱ケミカル株式会社製
- ※2 株式会社菱晃製
- ※3 三菱マテリアル株式会社製
- ※4 東京舗装株式会社製

安全性・耐久性に優れた、空隙セメント注入工法

ダイヤグラウト工法



国道 コンクリート舗装維持修繕工事

空港誘導路 PC版リフトアップ工事



日本コムシスグループ
東京舗装工業株式会社



〒101-0021 東京都千代田区外神田二丁目4番4号 第一電波ビル5階
本店営業部 Tel.03-3253-5981 Fax.03-3253-5983
www.tokyohoso.co.jp e-mail:business@tokyohoso.com
支店 関東/東北/関西/中部/九州 高性能セメントG/製品販売G
合材工場 茨城/飛騨 JVI工場 枚方/綾瀬/千葉/新東京 RC工場 吉川
●このカタログは、2021年3月現在のものです。

人と道と自然のハーモニー

日本コムシスグループ
東京舗装工業株式会社

アスファルト注入工法からダイヤグラウト工法へ。

ダイヤグラウト工法は、コンクリート舗装版と路盤との間の空隙や舗装版下の空洞に超速硬型裏込めグラウトを注入する工法です。混練後2～3時間で所要の強度が得られることにより、時間的制約のある重交通道路や空港、トンネルなどの現場で、特に威力を発揮します。

グラウト材の採用や事前・事後調査によるたわみ量の確認、削孔箇所の選定などが、施工上のキーポイントになります。

ダイヤグラウト工法は、施工の安全性・簡便性により、アスファルト注入工法に代わる新しい維持修繕工法として期待されています。



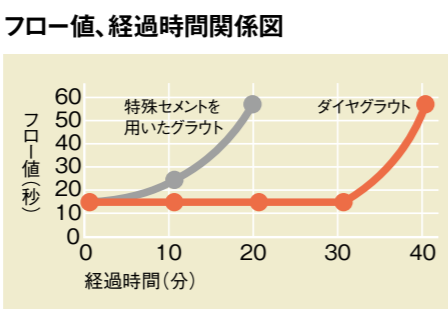
用途

グラウト材/グラウト

グラウト材
国道や空港、トンネル内の工事には、施工時間に限りがあります。注入後、養生2～3時間で所要の品質を確保することのできる、グラウト材を選択することが必要です。

グラウトの特長

- グラウト材は、プレミックスタイプですから、水と混合するだけの簡単作業。
- 混練後、約30分は一定の流動性を有することによる、優れた作業性。
- 2時間で2～3MPa以上の实用強度の発現が得られる。
- 硬化後、長期的な強度発現性が持続。
- 低温時でも良好な硬化特性が得られる。



安全施工で長寿命化を図ります。

施工フロー

ダイヤグラウト製造機

小型連続ミキサーシステム

大型連続ミキサーシステム仕様

トランパー	
容量	2.4m³
供給量	120L/分
大型連続ミキサー	
粉体吐出量	80L/分
混合能力	50～80kg/分
圧送量	80L/分

大型連続ミキサーシステム

流動性試験

グラウトの充填時において、グラウトの流動性がポイントです。注入されたグラウトは自然に空隙の隅々に行き渡らなければなりません。流動性試験(コンシステンシー)は適正な品質のグラウトであるかを確認する試験方法です。14±3秒が一般的となっています。

圧縮強度試験

交通開放に対応した圧縮強度は、品質管理のポイントです。

品質の規格や材齢は各機関によって異なりますが、開放時の強度がLU-3で2～3MPaが一般的となっています。

